

教育事業部

(1) 単位互換事業

<概要>

第4ステージプランでは、「単位互換事業」は、「質への転換」として①科目の特色化、②科目内容・到達度に関する点検評価機能の構築、③単位互換科目の質的転換の打ち出しを主とした広報強化を挙げている。学生への価値提供の視点から、本事業は加盟大学・短大他の特色ある科目を、多様性の中で学ぶ環境の提供を目指しており、年間約3000名が参加する意義の高いものとする。その代表である京都世界遺産PBL科目は全国に先駆けた取組みであり、またガイドラインに基づいた特色ある科目提供を含めて、財団らしい学びの促進を行う。2017年度は特に、それら科目への学生参加とさらなる科目提供の増加にむけて、学び効果や世界遺産側の課題解決効果の客観化等に努める。そのための補助制度の必要な見直し、学生評価の加盟大学との共有、各加盟大学による適切な学生向け広報の調査と強化施策の検討を行う。また、ディプロマポリシーの厳格化の中で、国の施策を踏まえつつ、今後の単位互換のあり方について専門委員会において論点整理と政策検討を行う。

<実績>

1. 2017年度単位互換事業出願状況について

協定大学数	提供大学数		提供科目数	出願者数	出願増減	送出・受入者数	送受増減
35 大学・11 短期 大学合計 46 校※	32 大・8 短 計 40 (31 大・8 短 計 39)	前期	435 (457)	2,284 (3,106)	-822 (-168)	2,138 (2,864)	-726 (-211)
		後期	※注 130 (106)	265 (263)	+2 (-7)	262 (256)	+6 (-10)

2. 2017年度京都世界遺産PBL科目の出願・実施状況について

受入先 世界遺産	開設大学	科目名	担当教員	受講者数
上賀茂神社	京都産業大学	京都の世界遺産PBL～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	若松 正志	7
醍醐寺	京都橘大学	遺産情報演習Ⅰ～醍醐寺の資産を観察・調査し、パブリックな取り組みへの提案を模索する～	登谷 伸宏	1
清水寺	立命館大学	特殊講義Ⅰ「外国人観光客のための清水寺参詣曼荼羅(現代版)をつくる」	宗本 晋作	20
醍醐寺	龍谷大学	コミュニティマネジメント特論：世界遺産と学ぶ課題発見・解決過程	笠井 賢紀	20
延暦寺	京都文教大学	「中世の比叡山」再現プロジェクト	手嶋 英貴	9
二条城	同志社大学	世界遺産PBL講座〇2〇マーケティングによる地域活性化	多田 実	20
仁和寺	立命館大学	政策科学特別実習1(京都の世界遺産 仁和寺)	桜井 政成	12

清水寺	立命館大学	特殊講義Ⅰ「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	大窪 健之	24
合 計				113

◇大学別出願状況（単位互換生の所属大学）

受入先 世界遺産	開設大学	科目 開設 大学	京都ノ ートル ダム女 子大学	京都学 園大学	京都産 業大学	京都女 子大学	同志社 大学	同志社 女子大	立命館 大学	龍谷 大学	合計
上賀茂 神社	京都産業大学	1				1			5		7
醍醐寺	京都橘大学	1									1
清水寺	立命館大学(宗本)	18					1			1	20
醍醐寺	龍谷大学	9				1			7	3※	20
延暦寺	京都文教大学	6						1	1	1	9
二条城	同志社大学	19	1								20
仁和寺	立命館大学	10					1			1	12
清水寺	立命館大学(大窪)	15		2	3	1	2	1			24
合 計		79	1	2	3	3	4	2	13	6	113

（２）生涯学習事業

<概要>

第4ステージプラン（2014～2018年度）において生涯学習事業（京（みやこ）カレッジ）」の課題については、①提供科目の整理、②他機関の生涯学習事業との連携による広報の見直しを挙げている。大学のまちのブランド向上の視点から、本事業は大学講義等の市民への開放については、加盟大学・短大・機関からの300以上の提供科目にのべ1200名以上が受講しており、今後も受講者層の増加が見込まれる。加盟大学の満足度向上の視点を含め、京カレッジでの市民の学習機会のさらなる提供と加盟大学による各種事業への参加機会を促進するため、大学リレー講座の充実を行う。また京都学講座の市民受講定員の増と、学生への京都関連の学習機会提供を強化するため、京都学講座の1日2回講義制を試行する。専門委員会の下、生涯学習事業企画検討会議において、大学間連携による今後の生涯学習支援の在り方を検討する。

<実績>

1. 2017年度生涯学習事業京カレッジ出願状況について

科目提供大 学数	提供科 目数	出願科 目数	出願率	出願者数				出願者合計		受講許 可者数
				実数		延べ数		実数	延べ数	
				前期	後期	前期	後期			
29 (31) 大 学・短期大学 2 (2) 機関	276 (314)	127 前期 121 (154)	46.1% (47.8%)	1,048 (812)	7 (21)	1,655 (1,576)	24 (34)	1,055 (833)	1,679 (1,610)	1,315 (1,292)

2. 京都学講座「その時京都が動いた～江戸から明治へ～」の実施状況について

回数	開講日	テーマ	講師 *敬称略	出席者 午前 午後	昨年度
特別	3/11	肚（はら）を失くした日本人	榎木 孝明 八木 透	401	421
1	5/20	京都の変革期—中世・近世から近代への景観の変容～秀吉の都市改造・聚楽第城から藩邸の形成へ～	天野 太郎	259 257	246
2	6/3	伏見「首都」計画～豊臣秀吉の政権中枢と社会構想	梅林 秀行	239 243	233
3	6/24	二条城とは何か～家康と家光（秀忠）の視点を中心に	後藤 玉樹	249 229	233
4	7/29	徳川家康と知恩院	今堀 太逸	233 230	228
5	9/2	鴨川の改修と歓楽街の誕生	吉越 昭久	222 215	226
6	9/16	禁門の変と幕末京都～戦災とその実態	笹部 昌利	211 183	216
7	10/14	大政奉還とは何か	青山 忠正	222 208	201
8	11/18	神仏分離～〈寺院〉と〈神社〉の明治維新	青谷 美羽	205 184	207
9	12/9	画家たちの明治維新	田島 達也	193 181	195
10	1/20	京都の学校事始め～学都京都の誕生 校舎の建築からみる	川島 智生	202 175	213
実地 1	7/15	二条城探訪	松本 直子 後藤 玉樹	44	38
実地 2	12/2	歴史都市伏見の町と建築を歩く～濠川と酒蔵街を高低差からみる	川島 智生 梅林 秀行	42	73

3. 大学リレー講座の実施状況について

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員	人数
1	5/27	京都外国語大学	京都を訪れる外国人とのコミュニケーションの取り方	ジェフ パークランド	165
2	6/10	大谷大学	仏像が語りかけてくるもの—地域の歴史を探る—	齋藤 望	230
3	7/15	龍谷大学	道としての仏教—幸せに気づくための仏教入門—	杉岡 孝紀	168

4	8/5	嵯峨美術短期 大学	ユニバーサルデザイン －誰もが暮らしやすい社会をめざして－	坂田 岳彦	88
5	9/9	京都精華 大学	文学と表現の自由－谷崎潤一郎の現代語訳「源氏物語」と 「細雪」を中心に－ ※定員 90 名	西野 厚志	70
6	9/30	京都学園大学	いくつになっても遅くない身体づくり・体力づくり	木村 みさか	156
7	10/7	京都文教大学	学生・市民が力を合わせるまちづくり －宇治のまち・宇治茶の取組の事例から－	森 正美	47
追 加	10/21	京都精華 大学	文学と表現の自由－谷崎潤一郎の現代語訳「源氏物語」と 「細雪」を中心に－	西野 厚志	100
8	11/11	平安女学院大学	奈良時代の京都	毛利 憲一	197
9	11/25	京都学園大学	食品の持つ生体調節機能を基にした トクホ・機能性表示食品の開発	藤田 裕之	61
10	1/27	京都市立芸術大学	アート×ケア＝独りよがりとお節？	高橋 悟	66
11	2/10	京都女子大学	辞典の中の親鸞聖人－聖人を慕う心－	黒田 義道	130
12	2/17	京都産業大学	‘重力のレンズ’で見る宇宙	米原 厚憲	101

(3) eラーニング事業

<概要>

単位互換事業と生涯学習事業に跨るもので、2008年度「戦略的大学連携事業」（文部科学省補助事業）の採択から継続的に運営しているが、第4ステージプラン（2014～2018年度）において、事業コストの問題からサーバー保守期限を踏まえた事業継続について判断が必要となっていた（2018年度（文科省補助事業から10年）までは既存科目を引き続き提供するとしていた）。これについて、2015年度教育事業企画検討委員会において2016年度以降の新規科目の募集を停止し、2016年度の同委員会において一旦2019年度廃止とすること、経過措置として2018年度までの継続を行うこととした。2017年度は現在開講されている当該科目について方針に基づいた個別調整と運営体制の整理を行う。

《参考》e-learning 受講者数

2016年度 13科目 567名（単位互換全体457科目 2,864名 19.8%）

<実績>

(1) 開講科目の減数

- 1) 2016年度13科目について、2017年度は京都文教短期大学による4科目を停止し9科目（京都学園大学・京都産業大学各1、京都ノートルダム女子大学2、京都光華女子大学5）での開講とした。

(4) インターンシップ事業

<概要>

1998年度より全国に先駆けて実施しており、第4ステージプランにおいては、財団インターンシップ事業の特色と優位性として、1) 産学官連携による教育プログラムとして位置づけ、継続的に展開、2) インターカレッジ・ゼミとしての特色、3) コース等の増設・再編を繰り返しながら、団体数・実習生数も飛躍的に伸ばしてきたことを確認し、「大学→社会の接続を目的としたキャリア教育としての「インターン

シップ事業」の推進」を課題としている。学生への価値提供の視点から、本事業は学生の成長を目的とし、大学と連携して「教育プログラム」の実施を使命に、社会に広く理解を求め質の高い実習を提供する受入先の確保に努めてきた（受入先230団体以上、参加学生年約400名）。特に、短期実践型コースは振り返りと気づきを促進するカリキュラム改善、単位認定の制度整備を行い、また長期企画型コースではPBLによる教育プログラムの特色の明確化を行っている。2017年度は、2016年度での課題を踏まえた講義・実習計画の遂行、受入先の実習プログラムに関する基準の設定とそれに基づく質的改善の促進、コーディネータと受入先の情報交換促進、大学と連携した学生参加促進や単位認定大学の拡大、コーディネータの安定的確保と必要な規約整備を行う。

＜実績＞

2017年度出願・受講・受入企業状況（5/31 合否発表時）および修了状況について

コース名	学生				企業・団体		
	出願者数	実習許可者数	受講率	修了者数	登録団体数	受入団体数	受入率
ビジネス	461 (458)	245 (252)	74.0%	232 (233)	156 (172)	122 (127)	78.2% (73.8%)
パブリック		96 (108)		91 (102)			
プロGRESS	44 (66)	37 (61)	84.1%	31 (57)	15 (17)	10 (11)	66.7% (64.7%)
合計	505 (524)	378 (421)	74.9% (80.3%)	354 (392)	213 (238)	165 (176)	77.5% (73.9%)

※()内は2016年度実数 出願大学は30大学・短期大学(昨年度30)加盟・非加盟あわせて。

1) 特徴点、その要因について

- ①昨年度より第1志望以外は実習したくないという学生が増加した。
- ②経団連他による1日でもインターン可の動きからか、プロGRESS等の長期への敬遠傾向が強まった。
- ③龍谷大学の情報系分野の方針によって理系男子学生の出願が倍増。京都女子はインターン受けて単位認定を受けるために必要な事前科目の受講者が減少した影響、および就職希望多数の銀行系が外部インターンが多いためか1/3に減少。

各種委員会等の開催について

(1) 単位互換事業・生涯学習事業（京カレッジ）

① 教育事業企画検討委員会（専門委員会）

6月28日（水）第1回（主要議題：2018年度以降の単位互換事業・生涯学習事業の展開について）

11月7日（火）第2回（主要議題：2018年度単位互換事業・生涯学習事業の展開について）

※上記の基本議題の実施の他、2017年度は単位互換事業の次期計画策定に係る加盟校アンケート調査を行うため、その課題の審議・検討を行う会議または懇談会の実施を検討している。

(2) 生涯学習事業（京カレッジ）

① 生涯学習事業企画検討会議（旧：京カレッジ企画検討会議）

主要議題：生涯学習事業における大学連携を含めた今後の展開について
京カレッジ市民教養講座開設補助費の採択について

② 京都学企画検討委員会

- 7月11日(火) 第1回(主要議題：2017年度京都学講座の実施状況と2018年度実施方針)
- 8月9日(水) 第2回(主要議題：2017年度実施状況と2018年度京都学講座テーマ・講義案について)
- 10月4日(水) 第3回(主要議題：2018年度京都学講座テーマ・各講義・講師案の調整について)
- 12月8日(金) 第4回(主要議題：2018年度京都学講座テーマ・講師の決定について)

(3) インターンシップ事業

① インターンシップ事業企画検討委員会(専門委員会)

- 6月23日(金) 第1回(主要議題：2017年度 事業の目的の明確化・具体化について他)
- 10月19日(木) 第2回(主要議題：2018年度講義計画(シラバス)について他)
- 12月7日(木) 第3回(主要議題：2018年度講義計画・スケジュールについて他)
- 2月22日(木) 第4回(主要議題：2017年度プログラムの振り返り、2018年度運営について他)

② インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(ビジネス・パブリック)

- 4月20日(水) 第1回(主要議題：2015年度インターンシップ・プログラム事業推進体制他)
- 6月7日(火) 第2回(主要議題：事前学習の進め方について 他)
- 6月11日(土) 第3回(主要議題：事前学習実施に関わる連絡事項について 他)
- 6月25日(土) 第4回(主要議題：実習・中間指導について 他)
- 7月2日(土) 第5回(主要議題：実習状況の報告について 他)
- 9月24日(土) 第6回(主要議題：2017年度講義計画(シラバス)について 他)
- 10月28日(金) 第7回(主要課題：成績評価確定、2017年度講義計画確定 他)

③ インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(プログレス)

- 4月21日(木) 受入先合同会議 第1回(主要議題：2016年度受入先・コーディネータ顔合せ 他)
- 5月26日(木) 第1回(主要議題：2016年度成績基準、各プログラム実施目的について 他)
- 6月9日(木) 受入先合同会議 第2回(主要議題：2016年度年間スケジュール 他)
- 6月30日(木) 第2回(主要議題：プロジェクト毎の内容確認について 他)
- 7月14日(木) 第3回(主要議題：プロジェクト毎の活動内容について 他)
- 9月29日(木) 第4回(主要議題：夏期休暇中の進捗状況、成果報告会、2017年度講義計画 他)
- 11月24日(木) 受入先合同会議 第3回(主要議題：2016年度総括 他)
第5回(主要議題：成績評価、2017年度講義計画の確定について 他)

教育開発事業部

(1) FD事業

<概要>

FD事業は、FDフォーラムを担当する「FDフォーラム企画検討委員会」およびFDフォーラム以外のFD事業を担当する「FD企画研究委員会」の2委員会体制で運営した。

なお、FD企画研究委員会については、引き続き2チーム（FDマクロチーム及びFDマイクロチーム）で運営を行いつつ、お互いの事業進捗状況の共有を図るとともに、必要に応じてチームの枠を越えて運営をサポートした。

<実績>

◆京都FD執行部塾

「大学改革の動向とこれからの大学運営を担う教職員への期待について
～SDの充実・教職協働の推進を通して～」

日時：2017年6月24日（土）11：30～12：30

講師：林 剛史 氏（文部科学省高等教育局大学振興課 課長補佐）

参加者数：54名

◆教育IRフォーラム

変革する大学！「学修成果の可視化」から教育・授業を変える
～教学データやIR分析に基づく改革の実践へ～

日時：2017年7月30日（日）14：00～17：30

基調講演：高大接続改革の動向と、大学に期待される教育の質保証

～「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」の検討状況と、学生調査データに基づく教育改善～

事例発表：大学教育活性化への東洋大学の挑戦～IRの全学的取組の結果、見えてきたもの～

事例発表：基礎力を育む文学部教育の改革～学修行動調査、アセスメント、学生インタビューの活用～

参加者数：219名

◆新任教員FD合同研修プログラムA

<1日目>

日時：2017年9月16日（土）13：00～18：00

講義・ワークショップ

①学習支援・特別支援のための基礎知識・ワークショップ

②授業デザインのための基礎知識・ワークショップ

<2日目>

日時：2017年9月17日（日）10：00～16：30（台風の影響で時間短縮）

講義・ワークショップ

①大学教員のキャリア開発

②学習者中心の授業運営のための基礎知識・ワークショップ

参加者：9名（両日合計）

◆2017年度京都FDer塾×大学教育パワーアップセミナー合同企画

日時：2018年1月20日（土）13時00分～16時45分

基調講演：高等教育行政の動向と『三つの方針』に基づく大学教育改革

分科会A：京都FDer塾 事例報告①

「山形大学における教育の質保証及びIR機能の強化に向けた取組」

「教員の問題意識から始める教育開発—CAPDサイクルの確立を目指して—」

分科会B：大学教育パワーアップセミナー①

「質問する学び場『ハテナソン』の体験ワークショップ」

分科会C：大学教育パワーアップセミナー②

「PDCAサイクルのPlanとは何かを体験してみよう！」

参加者：88名

◆新任教員FD合同研修プログラムB

<1日目> 2018年2月17日（土）13:00～17:15

講義・ワークショップ ①京都の大学・大学のまち京都、②授業設計のためのワークショップ

<2日目> 2018年2月18日（日）10:00～17:00

講義・ワークショップ ①授業実践ワークショップ、②成績評価のためのワークショップ

参加者：13名（両日合計）

◆FDフォーラム

<1日目> 2018年3月3日（土）

場 所：京都産業大学神山ホール

全体テーマ：FDのこれまでと、これから～多様な角度からFDについて考える～

参加者数：651名

シンポジウム

【シンポジスト】

林 剛史氏（文部科学省 高等教育局大学振興課 課長補佐）

梅本 裕氏（学校法人京都橘学園 理事長）

森 朋子氏（関西大学 教育推進部 教授）

佐藤 浩章氏（大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 准教授）

【コーディネーター】

西野 毅朗氏（京都橘大学 教育開発支援センター 講師）

情報交換会

<2日目> 2018年3月4日（日）

分科会

場 所：京都産業大学サギタリウス館、12号館

分科会：12分科会

参加者数：587名

ポスターセッション

場 所：京都産業大学サギタリウス館4階

ブース数：16

(2) SD事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

◆大学職員共同研修

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与する。2014年度以降4ヵ年17プログラムを計画し、最終年度を迎える。シラバスの体系的な提示により、受講者に、研修の狙いや獲得目標を一層わかりやすく伝える工夫を図った。

◆SDフォーラム

高等教育の動向を踏まえた先進事例紹介や外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として提供し、新たな知見修得や人的ネットワークの構築に寄与する。2017年度よりSDの義務化に対応したSDフォーラムの実施及び各大学や他組織における類似企画との差別化を図るために、プログラム(分科会数、規模等)や運営面でより魅力的なものとなるよう、アンケート結果等からニーズを分析し、SD研修委員会を交えてより充実したSDフォーラムの在り方を検討した。

◆SDゼミナール

第4ステージプランにおいて、休止中の「大学アドミニストレータ研修」再開にむけた検討の必要性が示されたことを受け、2014年度にプログラムを再開発し、2015年度から実施しており、3年目となった。過去2年間実施してきた内容や受講生アンケート結果を参考に、応募条件や人数、開講形態、内容等を見直し、SD研修委員会を交えて更なるプログラムの充実を図った。

<実績>

◆大学職員共同研修プログラム

(1) ビジネスマナー研修<基礎編>

日 時 2017年3月23日(木)、3月28日(火)、5月24日(水) 全日程9:30～17:00

対 象 新任者(対象以外の方でも参加可能)

参加者数 計51名(内訳:加盟46名、非加盟2名、財団職員3名)

(2) マーケティング～高校生・新入生の心を掴む～

日 時 2017年5月26日(金) 9:30～17:00

対 象 全職員

参加者数 計17名(内訳:加盟14名、非加盟2名、財団職員1名)

(3) 問題解決力向上

日 時 2017年8月2日(水) 9:30～17:00

対 象 勤続3年以上（対象以外の方でも参加可能）

参加者数 計15名（内訳：加盟12名、非加盟2名、財団職員1名）

（4）リーダーシップと職場活性化

日 時 2017年8月4日（金）9：30～17：00

対 象 勤続10年以上（対象以外の方でも参加可能）

参加者数 計19名（内訳：加盟16名、非加盟2名、財団職員1名）

（5）ワーク・ライフバランスのための時間活用術

日 時 2017年9月6日（水）9：30～17：00

対 象 全職員

参加者数 計16名（内訳：加盟11名、非加盟3名、財団職員2名）

◆SDフォーラム

日 時：2017年10月22日（日）10：00～17：15（台風の影響で一部時間短縮）

全体テーマ：AI時代の大学職員

基調講演①：進展する人工知能と職業に与える影響

基調講演②：GoogleにおけるAIの活用とその広がり

【分科会A】テーマ：教育データの分析に基づく学習支援・教育改善

【分科会B】テーマ：AI時代に輝く女性の働き方～マイノリティだからこそその強みとは～

【分科会C】テーマ：AI×クラウドを活用した近大流大学業務改革

【分科会D】テーマ：AI時代の働き方と労働法（台風の影響で中止）

【分科会E】テーマ：AI時代を生き抜く！大学職員の働き方改革

～仕事の「選択」と「集中」を始めよう～

（3）京都高大連携研究協議会事業

<概要>

高大連携事業は、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所及び当財団の連携によって「京都高大連携研究協議会」を組織し、2003年度から取り組んでいる。高大連携教育フォーラムとキャリア教育に重点を置きつつ、事業の更なる充実に努めた。

<実績>

◆まるっとーく2017

日 時：2017年11月23日（木・祝）10時00分～17時30分

場 所：龍谷大学深草キャンパス和顔館1階B108教室

内 容：アイスブレイク、主に自校や取り組んでいることなどについて紹介、ワークショップ

参加者：合計51名

◆高大連携教育フォーラム

日 時：2017年12月9日（土）9：30～18：30

テーマ：いま育成すべき力は何かをともに考える ～高等学校・大学の役割～

基調講演：高大接続改革の政策的方向と課題—「学びのリレー」の確立に向けて—

事例報告：①京都光華女子大学、②追手門学院大学

パネル・フロアディスカッション

分科会：【第1分科会】表現技法、【第2分科会】数学、【第3分科会】英語、【第4分科会】理科、
【特別分科会①】アドミッション専門人材の育成、【特別分科会②】高大社連携キャリア教育

参加者数：210名

◆ワーク・ライフトーク

日時：2018年2月10日（土）13：00～17：00

内容：【講演】「楽しく暮らす。楽しく働く。その秘訣とは？」

【ロールモデルトーク（ディスカッション形式）】

参加者：高校生19名、大学生5名

各種委員会等の開催について

（1）FD事業

① FDフォーラム企画検討委員会

6月22日（木）	第1回FDフォーラム企画検討委員会
8月2日（水）	第2回FDフォーラム企画検討委員会
9月27日（水）	第3回FDフォーラム企画検討委員会
10月31日（火）	第4回FDフォーラム企画検討委員会
2月8日（火）	第5回FDフォーラム企画検討委員会
3月29日（木）	第6回FDフォーラム企画検討委員会

② FD企画研究委員会

5月24日（水）	第1回FD企画研究委員会、第1回FDマクドーム会議、第1回ミクドーム会議
6月21日（水）	第2回FD企画研究委員会、第2回FDマクドーム会議、第2回ミクドーム会議
8月1日（火）	第3回FDミクドーム会議
9月14日（水）	第3回FD企画研究委員会、第3回FDマクドーム会議、第4回FDミクドーム会議
1月18日（木）	第4回FD企画研究委員会、第5回FDミクドーム会議
2月13日（火）	第6回FDミクドーム会議
3月28日（水）	第5回FD企画研究委員会

（2）SD事業

①SD研修委員会

5月16日（火）	第1回SD研修委員会
6月27日（火）	第2回SD研修委員会
10月6日（金）	第3回SD研修委員会

- 11月15日(水) 第4回SD研修委員会
- 12月19日(火) 第5回SD研修委員会
- 2月27日(火) 第6回SD研修委員会

(3) 京都高大連携研究協議会事業

以下の①・②の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

① 京都高大連携研究協議会 役員会

- 7月25日(土) 第1回役員会(書面会議)
- 3月20日(火) 第2回役員会(書面会議)

② 京都高大連携研究協議会 運営委員会

- 6月29日(木) 第1回運営委員会
- 11月24日(金) 第2回運営委員会(書面会議)
- 3月16日(金) 第3回運営委員会

③ 高大連携推進室 室員会議

- 5月19日(金) 第1回高大連携推進室 室員会議
- 6月13日(火) 第2回高大連携推進室 室員会議
- 7月6日(木) 第3回高大連携推進室 室員会議
- 7月20日(木) 第1回高大連携推進室 室員拡大会議
- 7月28日(木) 第4回高大連携推進室 室員会議
- 11月30日(木) 第5回高大連携推進室 室員会議
- 1月26日(金) 第6回高大連携推進室 室員会議
- 2月22日(木) 第2回高大連携推進室 室員拡大会議
- 3月9日(金) 第3回高大連携推進室 室員拡大会議
- 3月9日(金) 第7回高大連携推進室 室員会議

(1) 京都学生祭典事業

<概要>

京都学生祭典は、「大学のまち京都」を盛り上げるべく2003年から開催され、2017年度で第15回を数える。学生で組織する京都学生祭典実行委員会は、10月に主催する祭典当日の企画・運営だけでなく、近年では、1年間を通じた地域交流を深めるため、精力的に活動を行っている。2017年度は、15回目という節目を記念し、協働するパートナーと共に京都の各所でのアニバーサリーイベント実施や、新たに京都の魅力が伝わるような場所で動画の撮影を行う「京炎！そでふれ」プロモーションビデオ作成プロジェクト、毎月15日を「京都学生文化発信の日」に設定し、京都の文化を学び、理解したことを広く発信する活動等を実施することにより、京都三大祭に並ぶような地域に根差した愛される祭になることを目指す。

事務局の一翼を担う当事業部では、祭典に向けての支援に加え、1年間の活動を学生の成長の機会として捉え、年間を通じた支援体制の整備を行う。

<実績>

◆第15回京都学生祭典

大学の枠を越えた学生の力を結集させ、「大学のまち・学生のまち」京都の魅力を社会に発信し、京都の地域活性化に貢献するとともに、その活動を通して学生が共に成長していくことを目的に、「京都学生祭典」を京都学生祭典組織委員会の一員として共催する。

《開催日時》2017年10月8日（日） 11時00分～19時00分

《会場》平安神宮前・岡崎プロムナード（京都市左京区）

《テーマ》「京都学生祭典のキセキを感じる日」

《企画趣旨》『京都学生祭典のキセキを感じる日』を本祭のテーマにし、学生から発信されるパワーと熱気に包まれた空間で来オール場者の世代に関係なく、感動・喜び・笑顔・ときめきを、京都学生祭典から創造し、学生にしかできない、非日常を創り上げている奇跡と、これまで積み重ねてきた15回の軌跡をかけた2つの意味をかけた祭りとする。オールジャンルの学生が参加でし、「京都学生文化」として新たな価値を創造することのできる企画にする。

《企画内容》①京炎 そでふれ！全国おどりコンテスト ②ファッション企画 ③音楽企画④緑日企画
⑤こども企画 ⑥ブース企画 ⑦京炎みこしパレード ⑧スペシャルゲスト倉木麻衣さんと学生合唱団とのコラボライブ企画等

《来場者数》136,000人（実行委員会調べ）

《主催》第15回京都学生祭典実行委員会（実行委員長・喜馬爽＝京都女子大学3年）

《共催》京都学生祭典組織委員会（京都府・京都市・京都商工会議所・一般社団法人京都経済同友会・公益財団法人大学コンソーシアム京都）

◆15th アニバーサリーフェスタ

京都学生祭典は産・学・公・地域の方々へ支えにより、今年で15回目という記念すべき節目を迎えることができた。実行委員会では京都学生祭典の活動理念「京都を活気づけ、感動・笑顔を創出する」「地域社会とのつながりを尊重する」「京都で学び、地域社会と共に魅力を広く発信する」の実現に向け、京都学生祭典のプレイベントと位置付けた「15th アニバーサリーフェスタ」を開催するもの。

1. 「京都学生祭典 15th アニバーサリーフェスタ in 右京」

《開催日時》2017年6月4日（日）11時00分～16時00分

《会場》京都学園大学 京都太秦キャンパス

《企画内容》①京炎 そでふれ！×吹奏楽生演奏披露 ②加盟校学生団体による音楽披露 ③おどり披露（右京区の学生団体が中心） ④留学生時代衣装ファッションショー（大政奉還150周年記念プロジェクトとの連携） ⑤京都市交通局によるトレインシミュレーター体験 ⑥子ども向け企画⑦京炎みこしをはじめとする「京縁メリーゴーランド」 ⑨お笑い芸人ライブ等

《来場者数》2,141人（企画参加実人数 ※実行委員会集計）

《主催》第15回京都学生祭典実行委員会

《共催》京都学園大学、京都市交通局（※地下鉄東西線開業20周年記念イベントとの連携）、京都学生祭典組織委員会（京都府・京都市・京都商工会議所・一般社団法人京都経済同友会・公益財団法人大学コンソーシアム京都）

《協力》右京区役所、社会医療法人太秦病院

2. 「京都学生祭典 15th アニバーサリーフェスタ in 京都駅ビル&ポルタ」

《開催日時》2017年8月27日（日）13時00分～17時00分（一部企画は18時まで）

《会場》京都駅ビル 駅前広場、室町小路広場 ポルタプラザ

《企画内容》①駅前広場<中央コンコース前>京都のご当地キャラクター企画、打ち水企画
<ホテル前>そでふれ四竹装飾体験ブース、アクセサリー手作りブース、お絵かきブース、科学体験ブース、うちわ絵付け体験ブース、京炎みこしブース、京都文化力プロジェクトブース、行政ブース等

②室町小路広場 **Kyoto Student Music Award** 2次予選（バンド部門・ミックス部門）
平成 KIZOKU パフォーマンス

③ポルタプラザ オープニング（門川市長、喜馬実行委員長挨拶）、そでふれコレクション、ゆるキャラステージ、おもしろ科学実験、書道パフォーマンス、平成 KIZOKU パフォーマンス等

《来場者数》5,554人（企画参加実人数 ※実行委員会集計）

《主催》第15回京都学生祭典実行委員会

《共催》京都学生祭典組織委員会（京都府・京都市・京都商工会議所・一般社団法人京都経済同友会・公益財団法人大学コンソーシアム京都）

《特別協力》京都駅ビル開発株式会社、京都駅前地下街ポルタ（京都ステーションセンター株式会社）

◆京都学生祭典実行委員会活動内容一覧

開催日	活動内容	担当部	区分	参加者数	来場者数
4/15 (土)	道の駅お茶の京都@南山城村	企画×年間	おどり広報	13人	約160人
4/16 (日)	新歓イベント	総務部	実行委員勧誘	20人	約20人
4/22 (土)	おどり広報@清水寺	おどり普及部	おどり広報	18人	
4/22 (土)	新歓イベント	総務部	実行委員勧誘	10人以上	
4/23 (日)	新歓イベント	総務部	実行委員勧誘	14人以上	
5/28 (日)	おどり広報@山城総合運動公園	おどり普及部	おどり広報	カウント無	
6/4 (日)	京都学生祭典 15th アニバーサリーフェスタ in 右京	全体		120人	2,141人
6/18 (日)	東アジア文化都市事前イベント	年間		12人 (実行委員)	留学生10人 英、台湾:各1、 タイ2 中国6)
7/1 (土)	だし講習会 (萬重)	年間	年間	実行:8 留学:4	
7/2 (日)	そでふれピクニック・京都学生祭典決起集会	おどり普及部	おどり広報		約1,000人 (おどり手)
7/7 (金)	ゴミ不法投棄禁止の街頭啓発と清掃活動	三条大橋から四条大橋間 知事・副市長・警察署をはじめ関係団体と		実行:11	
7/9 (日)	イオン企画 (京都イオンモール)	年間		実行:50	2,089人
7/24 (月)	三条みこし	年間	年間	実行:7	
7/26 (水)	だし講習会 (星野様)	年間	年間	実行:6	
7/28 (金)	夏の夜市	年間	年間	実行:9	
7/30 (日)	安寧夏まつり	年間	年間	実行:27	
8/5 (日)	鴨川納涼 (おどりステージ、ボランティア)	縁プロジェクト	縁プロジェクト	実行:3	
8/5 (日)	梅逵中学校 エコサマ	全体	全体	実行約30	
8/6 (火)	鴨川納涼 (ブース)	縁プロジェクト	縁プロジェクト	実行:約20	
8/10 (木)	打ち水 @伏見地域	年間	年間	実行:25	
8/18 (金)	打ち水 @平安神宮前	年間	年間	実行:41	
8/27 (日)	打ち水 @京都駅前広場	年間	年間	実行:5 留学生中韓:各2	200
8/27 (日)	京都学生祭典 15th アニバーサリーフェスタ in 京都駅ビル&ポルタ	全体	全体	実行:約220	5,554
9/2 (土)	クリーンアップ@岡崎	年間	年間	実行:55	
9/2 (土)	成功祈願	全体	全体	実行:136	
9/3 (日)	クリーンハイク	年間	年間	実行:7	

9/3 (日)	紫竹夏祭り	年間	年間	実行：約 20	
9/16 (日)	日中韓文化 だし文化発信	年間	年間	実行：約 30	
9/17 (日)	岡崎カーペット	みこし	みこし	雨天中止	雨天中止
10/1 (日)	決起集会	全体	全体		
10/8 (日)	第 15 回京都学生祭典 本祭	全体	全体	実行：235 名 当日：201 名	136,000
10/12 (木)	事後振り返り会	全体	全体	約 60 名	
10/19 (木)	第 16 回実行委員長選挙	全体	全体	78 名	
11/14 (火)	成果報告会&感謝祭	全体	全体	実行：48 名	62 名

◆第 16 回実行委員構成人数 (2018.2.20 現在)

構成人数 98 名 / 15 大学

① 加盟校 97 名 ②非加盟校 1 名

◆第 16 回おどり手構成人数 (2018.2.20 現在)

構成人数 606 名 / 17 大学 1 短期大学

① 加盟校 計 602 名 ②財団非加盟校 4 名

(2) 京都国際学生映画祭事業

<概要>

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭で、2002 年（第 5 回）から財団が単独で主催している。2017 年度においても、国内外を問わず、実行委員が広く学生作家の映像作品をコンペ形式で募集し、選考した作品を上映する第 20 回京都国際学生映画祭（11 月 25 日～12 月 1 日開催予定）の企画や運営、PR を 1 年間担っていく。

京都国際学生映画祭は、文化芸術都市であり、「学生のまち」でもある京都で、学生クリエイターの発掘や情報発信、国際交流を深める上で開催する意義は大きい。しかしながら、その映画祭を支える実行委員の慢性的な人不足が続いており、実行委員の獲得が今後の活動に左右するため、2017 年度は各大学での上映会や活動説明会を通して、新規実行委員の獲得をめざす。また、実行委員の成長を促すためのサイクルの構築といった支援体制についても検討する。

<実績>

◆第 20 回京都国際学生映画祭

《開催日時》2017 年 11 月 25 日(土)～12 月 1 日(金)

《会 場》京都シネマ（京都市下京区 COCON 烏丸 3F）

《今年度コンセプト》「つなげる映画祭」

記念すべき 20 回目の開催として、過去 19 回で蓄積されてきた伝統を受け継ぎつつ、より作家と作品を大事にし、未来にはばたく才能を生み出す。また国際映画祭として、日

本と海外をつなぐ国際交流の場を生み出す。

さらに、日本唯一の国際学生映画祭として組織の基盤を堅実にするため、実行委員の育成にも注力し、今後のさらなる発展を目指す。

《プログラム》

11/25 (土)	第一部 17:35~19:35	第二部 20:10~22:20
11/26 (日)	第一部 17:35~19:45	第二部 20:10~21:45
11/27 (月)	第一部 17:35~19:40	第二部 20:10~22:15
11/28 (火)	第一部 17:35~19:35	第二部 20:10~21:45
11/29 (水)	第一部 17:35~19:45	第二部 20:10~22:15
11/30 (木)	第一部 17:35~19:40	第二部 20:10~22:20
12/ 1 (金)	授賞式、グランプリ作品上映、トークショー 18:00~21:00	

《来場者数》延べ 507 人 (実行委員会調べ)

《主催》公益財団法人大学コンソーシアム京都

《企画運営》第 19 回京都国際学生映画祭実行委員会

《運営支援》京都国際学生映画祭企画検討委員会

◆京都国際学生実行委員会活動内容一覧

3月17日(金)	第20回京都国際学生映画祭作品募集開始(～4/28まで)
4月28日(金)	第20回京都国際学生映画祭作品募集締切
6月4日(日)	第15回京都学生祭典プレイベント上映企画@京都学園大学
6月16日(金)	京都国際学生映画祭企画検討委員会(第1回)
7月1日(土)～ 8月20日(木)	グランプリトロフィーデザイン公募
7月8日(土)9日(日)	翻訳ボランティア募集&説明会
8月5日(土)6日(日)	
8月7日(日)・8日(月)	2次審査合宿@あうる京北
8月19日(土)	カモシネマ(京都国際学生映画祭は招待上映として参加)
9月13日(水)	京都国際学生映画祭企画検討委員会(第2回)
10月8日	プレイベント第2弾(京都学生祭典本祭でのブース出展)
10月12日(木)	京都国際映画祭2017 招待上映
～10月15日(日)	
10月28日(土)	最終審査会
11月8日(水)	京都国際学生映画祭企画検討委員会(第3回)
11月11日(土)	プレイベント第3弾「はじめての学生映画」ゼスト編
11月25日(土)	第20回京都国際学生映画祭@京都シネマ(決定)
～12月1日(金)	
1月17日(水)	第21回実行委員長選挙 (年間委員:10人、短期委員:8人)
2月27日(火)	京都国際学生映画祭企画検討委員会(第4回)

◆第 21 回実行委員構成人数 (2018. 1. 10 現在)

構成人数：18名 9 大学

① 加盟校 計 16 名 ②非加盟校 2 名

(3) 障害のある学生支援事業

<概要>

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(「障害者差別解消法」)が平成 28 年 4 月から施行されることに伴い、各大学は障害学生支援業務に携わる担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有や連携の場が求められることとなった。これらのニーズに対応するため、京都を中心とした関西にある大学の障害支援業務に携わる担当者による「関西障害学生支援担当者懇談会」を開催し、今後の対応について意見交換を行う。

また、学生へは、聴覚障害学生の授業における情報保障となるノートテイクについての理解やスキル向上を図るため、ノートテイク養成講座・パソコン(PC)テイク養成講座を開講する。

さらに、2016 年度財団指定調査課題で調査研究「大学での障害者差別解消へ向けたアクセシビリティと合理的配慮のDBの構築 ～障害学生支援室連携組織の設立へ向けて～」の研究成果・提言をどのような形態で財団事業に取り入れるかの検討を行う。

<実績>

◆第 19 回関西障害学生支援担当者懇談会

《開催日時》2017 年 9 月 12 日 (火) 13 時 00 分～16 時 50 分 (情報交換会 17:00～18:30)

《会場》キャンパスプラザ京都 (4 階第 3 講義室、5 階第 1～第 3 共同研究室、5 階第 1、第 5 演習室)

《企画内容》①「話題提供」「障害学生支援室の円滑な運営や支援実施にむけた支援スケジュールや支援ノウハウの共有」(講演：同志社大学障がい学生支援室 土橋恵美子氏)

②分科会「はじめての障害学生支援 (入門編)」「支援の実践 (身体障害系/精神・発達障害系)」「事例検討 (精神・発達障害系)」「障害学生支援マネジメント (2 グループに分かれて実施)」の 5 テーマ 6 グループに分かれそれぞれの大学が抱える諸課題や事例紹介などを踏まえて意見交換

《参加者数》67 名 (うち加盟校 39 名、非加盟校 28 名)

◆第 20 回関西障害学生支援担当者懇談会

《開催日時》2018 年 2 月 22 日 (木) 13 時 00 分～17 時 15 分 (情報交換会 17:30～19:20)

《会場》キャンパスプラザ京都 (4 階第 4 講義室、5 階第 1～第 3 共同研究室、5 階第 2・3 演習室)

《企画内容》①記念講演 「地域連携ネットワークの過去 10 年と今後の 10 年」

(講演：筑波技術大学教授 第 1～15 回 KSSK 座長 石田 久之 先生)

②分科会レクチャー (講義) 形式の「障害のある教職員の立場から」「障害学生支援に関わる人の座談会」、少人数の意見・情報交換会の「小規模大学」「事例検討」と 4 テーマ 4 グループに分かれ、障害学生支援のあり方について、それぞれの大学が抱える諸課題や事例紹介などを踏まえて意見交換を行った。

《参加者数》58 名 (うち加盟校 20 名、非加盟校 38 名)

◆ノート・パソコン（PC）テイカー養成講座（初級編）

《開催日時》2017年9月13日（水） 13時00分～16時30分

《会場》キャンパスプラザ京都 4階第3講義室

《主催》京都市福祉ボランティアセンター、大学コンソーシアム京都

《協力》特定非営利活動法人ゆに、京都市要約筆記サークルかたつむり

《参加者数》22名（加盟校14名、非加盟校7名、財団職員1名）

◆パソコンテイカー養成講座（初級編）in同志社大学

《開催日時》2018年3月8日（木） 15時00分～17時30分

《会場》同志社大学 今出川キャンパス 良心館307号教室

《主催》大学コンソーシアム京都

《協力》同志社大学 障がい学生支援室 学生スタッフの皆さん

《参加者数》26名（うち加盟校6名、非加盟校20名）

◆勉強会「障害学生支援における施設対応 ～アクセシビリティを考える～」

《開催日時》2018年3月2日（金） 15時00分～17時30分

《会場》キャンパスプラザ京都 5階 第1共同研究室

《主催》大学コンソーシアム京都

《企画内容》①「話題提供」「法令順守と障害のある学生にとってのアクセシビリティ」（講演：京都大学大学院工学研究科准教授 吉田 哲氏、京都大学学生総合支援センター准教授 村田 淳氏）

- ②グループ討議
- ・障害のある施設利用者から見た施設のアクセシビリティについて
 - ・自身の大学における課題、日頃の業務の中で感じる疑問

《参加者数》16名（うち加盟校14名、非加盟校2名）

各種委員会等の開催について

（1）京都学生祭典事業

① 京都学生祭典組織委員会

4月11日（火） 主要議題：第14回決算、第15回事業方針、事業計画、当初予算 ほか

9月19日（火） 主要議題：第15回本祭企画、15回記念事業報告、通年事業報告 ほか

12月7日（木） 主要議題：本祭開催報告、決裁見込み、第16回実行委員会発足 ほか

3月14日（水） 主要議題：第15回決算、第16回事業方針、事業計画、当初予算ほか

② 京都学生祭典企画検討委員会

5月16日（火） 主要議題：本祭業者選定、本祭企画、15thアニバーサリーフェスタほか

7月18日（火） 主要議題：本祭企画、15thアニバーサリーフェスタ、第15回事業進捗ほか

- 9月15日(金) 主要議題：本祭企画、15回記念事業報告、二次補正予算 ほか
- 11月21日(火) 主要議題：本祭開催報告、年間事業報告、決算見込み、監査人選任 ほか
- 12月21日(木) 主要議題：実行委員会の組織体制について、第16回事業方針・計画案 ほか
- 3月6日(火) 主要議題：第16回事業方針・計画・本祭企画案、前期決算について ほか

③ 京都学生祭典事務局会議

- 4月27日(木) 主要議題：本祭業者選定、本祭企画、15thアニバーサリーフェスタほか
- 7月5日(水) 主要議題：本祭企画、5thアニバーサリーフェスタ、補正予算ほか
- 8月30日(水) 主要議題：第15回本祭企画、補正予算ほか
- 10月26日(木) 主要議題：第15回事業報告、決算見込み、第16回発足 ほか
- 12月7日(木) 主要議題：第16回組織体制、事業計画、当初予算案 ほか
- 2月20日(火) 主要議題：第15回決算、第16回事業方針、事業計画、当初予算 ほか

(2) 京都国際学生映画祭事業

① 京都国際学生映画祭企画検討委員会

- 6月16日 第1回(主要議題：本祭・授賞式会場、企画検討委員会委員長任命、コンペ応募状況、コンペ体制、一次審査状況、企画案提出 他)
- 9月13日 第2回(主要課題：二次審査状況、最終審査員報告、企画案提出 他)
- 11月8日 第3回(主要課題：入選作品報告、本祭プログラム枠、広報協力依頼 他)
- 2月27日 第4回(主要課題：第20回開催報告、第21回委員会発足、第21回コンペ募集 他)

(3) 障害のある学生支援事業

① 障害学生支援事業企画検討委員会

- 6月27日 第1回(主要議題：委員長選出、2017年度障害学生支援事業、KSSK開催)
- 11月24日 第2回(主要議題：2017年度障害学生支援事業、KSSK開催)

② 関西障害学生支援担当者懇談会(KSSK)幹事会

- 5月17日(水) 第19回 KSSKの開催について
- 10月18日(水) 第20回 KSSKの開催について

国際事業部

(1) 国際連携事業

<概要>

「第4ステージプラン」では、大学コンソーシアム京都が取り組む国際連携事業として、①留学生と日本人学生の相互交流の促進、②留学生受入れ体制の強化、③学生の海外派遣、④グローバル化に対応した大学教職員の育成を主な柱として掲げている。

①留学生と日本人学生の相互交流促進・②留学生受入れ体制の強化

2015年度から、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、「大学のまち・学生のまち・京都」の海外への情報発信、留学生誘致に取り組むほか、留学生と日本人学生の相互交流促進や住宅支援、文部科学省からの委託を受けた就職支援等の留学生受入れ強化にも力を入れている。(詳細については(2)～(5)を参照)

③学生の海外派遣

2017年度も引続き単位互換を利用した豪州メルボルン(龍谷大)への派遣を行うとともに、2016年度に新規開講した日本人学生向け事業「英語で京都の魅力をプレゼンテーション」について、レベル分けした形で、クラスを増設する。併せて語学習得支援や留学説明会・フェア等により、加盟校学生の留学促進を目指す。

④グローバル化に対応した大学教職員の育成

継続実施している京都の加盟大学教職員向け英語スキルアップ研修について、内容の充実を図りながら今年度も実施する(計6回実施)。過去2年間の参加者のフィードバックを元に、今年度はTOEIC対策講座を新たに開講する。

<実績>

4月1日	英語で京都の魅力をプレゼンテーション(上級)募集開始
4月13日	教職員対象英語スキルアップ研修 募集開始
4月25日	龍谷大学国際学部主催 オーストラリアプログラム留学説明会 プレゼンテーション(合計 学生24名参加)
5月20日	英語で京都の魅力をプレゼンテーション 講義開始(～7/1)(21名参加)
6月11日	TOEFLスコアアップセミナー(41名参加)
7月8日	教職員スキルアップセミナー①(Telephone & Emails)(16名参加)
7月15日	教職員スキルアップセミナー②(Active Learning)(10名参加)
8月5日	教職員スキルアップセミナー③(Everyday Communication)(15名参加)
8月26日	教職員スキルアップセミナー④(Business Writing)(14名参加)

9月2日	教職員スキルアップセミナー⑤ (TOEIC 新形式対応学習法セミナー) (19名参加)
9月9日	教職員スキルアップセミナー⑥ (Meeting and Discussion) (16名参加)
10月1日	IELTS Master Class (38名参加)
10月11日	単位互換派遣プログラム (メルボルン) 第一回オリエンテーション (21名参加)
10月28日	英語で京都をプレゼンテーション (中級編) 講義開始 (~11/18) (14名参加)
11月15日	単位互換派遣プログラム (メルボルン) 第二回オリエンテーション (21名参加)
12月13日	単位互換派遣プログラム (メルボルン) 第三回オリエンテーション (21名参加)
1月31日	単位互換派遣プログラム (メルボルン) 第四回オリエンテーション (21名参加)
2月10日	単位互換派遣プログラム (メルボルン) 出発 (21名参加)

(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

<概要>

2015年度から京都地域における留学生（外国人研究者を含む。以下同じ）の誘致、受入体制の整備や、留学生の知識・経験を地域の国際化や活性化に活かすための仕組みづくりをオール京都で推進し、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力向上に図るため、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を運営している（2017年10月現在97機関が加盟）。

2017年度については、平成29年度「留学生スタディ京都ネットワーク」総会で承認を得た下記の事業を実施する。

1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上

- 京都留学総合ポータルサイトの運営
- 留学生PRチームの運営
- 留学生による動画コンペ (29試行実施)
- 各国マスメディア向けプレスリリースの配信と取材対応 (29試行実施)
- 海外教育旅行向け支援メニューの提供 (29試行実施)
- 「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討 (29試行実施)

2 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援

- 海外での京都留学フェア等の開催 (香港、バンコク)
- 京都留学ガイド「STUDY KYOTO」の活用
- 会員向けセミナー・交流会の開催

3 留学生受入環境の整備

- 留学生向け有給インターンシップの実施
- 留学生のための住宅情報サイトの運営
- 留学生向け就職イベント紹介カレンダーの設置と運営

<実績>

4月21日	留学生向け有給インターンシップ参加留学生募集開始
4月27日	平成28年度「留学生スタディ京都ネットワーク」総会・情報交換会

6月3日	留学生向け有給インターンシップ交流会（留学生60名と26社が参加）
6月15日	留学生スタディ京都ネットワーク 第1回プロモーション部会
6月22日	留学生動画コンペ募集開始（エントリー7月末まで、作品提出9月末まで）
7月6日	教育旅行支援・米国州立大学連合 京都プログラム受入れ（8名参加）
7月7日	留学生在留審査申請取次に係る研修会（79名参加）
8月～9月	留学生有給インターンシップ開始（26社・37名にて実施）
8月1日	教育旅行支援・アジアビジネス研修プログラム（中国）受入れ（89名）
8月19日	香港での日本留学フェア出展
9月15日	留学生満足度調査開始（～11/15）
9月30日・ 10月1日	ベトナム（ホーチミン・ハノイ）での日本留学フェア出展
10月23-25日	北京の大学等での京都留学説明会
10月24日	留学生スタディ京都ネットワーク 第1回就業支援部会
10月24日	留学生動画コンテスト 第一次審査会
11月4日	香港での京都留学フェア（550名来場）
11月15日	留学生有給インターンシップ成果報告会
11月16日	留学生スタディ京都ネットワーク 第2回プロモーション部会
11月23日	留学生動画コンテスト 最終審査会・授賞式・交流会（71名）
12月15日	会員向けセミナー・交流会②（ムスリム留学生の受入れについて）（36名）
1月12日	会員向けセミナー・交流会③（各国留学事情、大学ランキング）（36名）
2月10日	バンコク（タイ）での京都留学フェア（746名来場）
2月22日	留学生スタディ京都ネットワーク 第3回プロモーション部会
3月1日	留学生スタディ京都ネットワーク 第2回就業支援部会
3月15日	留学生スタディ京都ネットワーク 第2回運営委員会
3月30日	留学生満足度調査結果発表

（3）短期留学受入事業

＜概要＞

「大学のまち・学生のまち・京都」の魅力を伝え、京都の大学への留学につなげるため、2014年度事業として、京都市と協働で大学での講義、文化・交流プログラムなどからなる2週間の短期受入れプログラムの開発を行い、2015年度から留学生受入れを開始した。

今年度については、2017年3月から夏季プログラムの募集を開始しており、今後、夏季（2017年7月23日～8月5日）及び冬季（2018年1月14日～27日）の2回、各25名を定員として、海外学生の受入を行う。

＜実績＞

2017年3月～	2017年夏季プログラム募集開始
6月15日	第一回短期留学受入事業運営委員会
7月23日～	夏季プログラム開始（～8/5）

	6カ国10名が参加（ブルガリア、韓国、ネパール、シンガポール、台湾、ベトナム）
9月1日～	冬季プログラム募集開始
1月14日～	冬季プログラム開始（～27日） ＜参加者＞24人 オーストラリア、ブルネイ、中国、香港、フィリピン、シンガポール、台湾、アメリカ、ベトナム

（４）留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

＜概要＞

「京都地域留学生住宅支援制度」については、当財団がその事務局を担い、委員会開催、会員証発行、包括契約書締結、機関保証事務、事故対応等の業務（通年）を行う。

なお、近年、本機構加入大学においても住宅保証会社の使用に切り替える動きが見られ、その結果本事業利用校が減少している状況を踏まえ、今後の支援機構事業のあり方について議論するワーキンググループを設置し、検討を行っている。

＜実績＞

5月11日	第一回委員会開催
8月4日	第一回ワーキンググループ
11月16日	第二回ワーキンググループ
2月27日	第三回ワーキンググループ

（５）留学生就職支援・交流コミュニティ運営事業

＜概要＞

文部科学省が2015年度から実施する「住環境・就職支援等留学生の受入れ環境充実事業」の採択を受け、大企業志向の強い留学生の就職にかかる選択肢拡大を図るとともに、地元企業の国際化を支援する観点から、留学生に「京都を学び、地元産業を深く理解し、地元企業を志向する」プロセスを提供する就職支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy」を立ち上げることにより、①留学生の地元への就職を支援し、定着を促進するモデルを構築することにより、留学生が多様な就職機会に出会える環境を整える。

また、留学生の採用に当たっては、多くの企業が留学生に高い日本語能力を求めており、日本語がネックとなって就職活動に困難を感じる留学生が多い実情から、上記の地元企業への就職を志向する仕組みと併せて、②日本語学校との連携により、就職活動に必要な日本語支援を行うプログラム開発に取り組み、留学生の就職活動の円滑化を支援する。

さらに、上記コミュニティ参加者をはじめ、京都で学ぶ現役留学生による「留学生PRチーム」の運営により、③学生の目線に立った海外向け情報発信に取り組むなど、留学生誘致・支援に関する幅広い取組を展開する。

＜実績＞

4月1日	今年度参加者募集開始
------	------------

4月25日	オリエンテーションセッション (33名参加)
4月27日	就職活動セミナー (26名参加)
5月20日	文化体験×企業研究① (和菓子体験と企業研究) (26名参加)
6月6日	企業向けセミナー① (82名参加)
7月11日	観光業界を対象とした留学生向け就職面談会実施 (16社に対し80名参加)
8月1日	文部科学省 中間評価報告書 提出済切
8月7日	企業見学会①-1 (京都の伝統産業企業訪問) (22名参加)
9月21日	留学生と企業の就職面談会 (13社に対し63名参加)
10月17日	2017-2018年度 就活チーム活動開始 (9名参加)
10月21日	文化体験×企業研究① (金箔押し体験と企業研究) (19名参加)
10月26日	企業見学会①-2 (京都のハイテク企業訪問) (5名参加)
10月27日	企業向けセミナー②「高度外国人材の採用・定着ワークショップ」(30名)
10月30日	文部科学省 中間評価に係るヒアリング (東京)
11月11日	企業見学会② (京都の酒造会社訪問) (26名)
11月18日	就職活動セミナー② (50名)
11月30日	ビジネス日本語研修 (全4回、～1月10日、のべ66名参加)
12月14日	留学生と企業との交流会 (13社に対し59名参加)
12月26日	文部科学省 中間評価結果受領 (A評価)

各種委員会等の開催について

(1) 国際連携事業

① 国際事業部運営委員会

- 10月31日 (火) 第一回会議
- 3月 6日 (火) 第二回会議

(2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

① 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

- 11月30日 (木) 第一回会議
- 3月15日 (木) 第二回会議

(3) 短期留学受入事業

① 短期留学受入プログラム運営委員会

- 6月15日 (木) 第一回運営委員会
- 3月 9日 (金) 第二回運営委員会

(4) 留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

① 京都地域留学生住宅支援制度運営委員会

5月11日（木） 第一回会議

調査・広報事業部

(1) 調査企画事業

<概要>

第4ステージプラン（2014～2018年度）で指摘された調査研究機能の強化を図るため、調査企画事業では、2015年度から財団指定調査課題を設定し、事業の効果や成果を明らかにし、今後の事業展開に活かすこととしている。2017年度は以下の財団指定調査課題に設定し、研究者による調査研究を進める。また、2015年度に設置した「調査事業企画検討委員会」において検討してきた「共通指標」に基づき、原則、全事業で客観的、事業横断的な量的、質的データの集積を2016年度から開始した。得られたデータを財団事業の見直しや財団運営のあり方検討の参考とするなど活用した。

2017年度は、第4ステージプランの4年目にあたり、2019年度以降の次期中期計画策定に向け、大学政策委員会を設置し、第4ステージプランの総括と課題の検証などに取り組んだ。

<実績>

1 2017年度財団指定調査課題

(1) 調査テーマ

学問的交流における意義と効果に関する実証的研究

－「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を生かした学問的交流の場の提言に向けて－

(2) 調査研究担当者

龍谷大学政策学部 准教授 井上 芳恵 氏

(3) スケジュール

2017年11月16日 第1回調査事業企画検討委員会（中間報告）

2018年3月20日 第2回調査事業企画検討委員会及び成果報告会

2 「共通指標」に基づく財団基礎データの収集

2016年度から全事業（協働事業を除く）で「共通指標」に基づく量的、質的データの収集を開始。集積データは今後、加盟校へ提供、公開予定。

○ 34事業からデータ提供（3月末時点）

※2016年度は44事業からデータ提供

※2017年度は事業の見直しがあり、提供データ数は減少見込み

（SDワークショップ・まるっと一く事業など）

3 次期中期計画策定

(1) 財団次期中期計画について

財団では5年ごとに、財団の目指すべき方向性や事業のあり方についてまとめた「ステージプラン」を策定し、事業運営の指針としてきた。「第4ステージプラン（2014～2018年度）」の4年目に当たる今年度は、大学政策委員会において以下の検証を行い、2019年度以降の次期中期計画に掲げるべき方向性（施策の柱立て）の検討を行った。

- ・「第4ステージプラン」の中間総括（事業の到達点や課題の検証）
- ・加盟校等の現況や高等教育政策の動き等
- ・加盟校からの財団の事業や運営に対する評価・要望等

(2) 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」について

京都市の大学政策の指針となる、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」を京都市と財団が協働し策定している。現行計画の4年目に当たる今年度は、大学のまち京都・学生のまち京都推進会議（通称：推進会議）において、2019年度以降の次期計画の柱立てと計画全体像の検討を行った。当財団の次期中期計画と同時期に策定することから、相互に密接に連携しながら検証、策定を行った。

4 京都B&Sプログラム

京都市、JTBとの共同事業。京都に来る修学旅行生を対象に「大学のまち京都」の魅力発信に取り組んだ。（2014年度開始事業）。

2016年度 【受入実績】23校3,064名

2017年度 【申込状況】24校3,245名（2018年3月末時点）

(2) 広報事業

<概要>

第4ステージプランの策定にあたっての加盟校アンケート・ヒアリングで、財団事業の認知が不十分であることが明らかになった。広報事業では、①財団HPとSNS (facebook)等による財団事業の発信機能強化、②京都市との協働事業として2015年度に創設した「京都学生広報部」が運営するサイト「コトカレ」の充実と情報発信力の強化に取り組んだ。

<実績>

1 財団ホームページ・SNSの運用

2016年度アクセス実績の解析・状況分析を実施し、アクセス数の増加、情報発信力の強化を図る。

なお、2015年度をもって廃止した「京都の大学 学びスタイル」に掲載していた情報の一部（オープンキャンパス・学園祭情報等）は、引き続き財団HPで紹介した。

2 京都学生広報部

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を、京都の大学生たちが全国の中高生に発信することを目指し、2015年9月に創部、10月に専用WEBサイト「コトカレ」を開設。

3年目となる2017年度は、引き続き京都市及び運営支援を委託する日本ディレクション協会・クリエイター育成協会と協働で学生部員への支援を行い、ターゲット層である中高生との交流事業や、中高生にとって魅力あるコンテンツを制作し、中高生の読者の増加に向け取り組んだ。

① 部員数：50名（2017年度）

② 公開記事数：132件（2017年度）>

③ 2017年度コトカレ月別ページビュー数(閲覧数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16,696	18,224	22,178	17,490	13,658	53,725	35,403	55,754	47,776	39,014	43,177	53,254	416,349

※ 2016年度 合計 159,969 ページビュー

3 会報等の発行

- (1) 財団紹介用パンフレット (Information) の更新、発行 (年1回)
- (2) 会報誌の発行 (年1回) 会報誌「UNIVERSITY CONSORTIUM KYOTO」No. 49 (2018年3月発行)

(3) 都市政策研究推進事業

<概要>

「大学のまち京都」として、大学の知が集積する京都の地域的特性を活かし、京都のまちの魅力向上を目指した政策研究や学生による研究成果発信の場の提供等を行った。

<実績>

1 京都から発信する政策研究交流大会

本大会は、キャンパスプラザ京都を拠点に学生に政策研究の成果発信の場を提供し、日頃の活動の成果の発表を通じて交流を深め、都市政策に活かすことを目的に2005年度から毎年開催している。

2017年度は、発表件数は前年度とほぼ横ばいであった。発表者は主に政策系大学・学部からの参加に留まっており、今後、参加大学の拡大が課題である。

2 「大学の知」を活かした多角的な市政研究事業

京都が有する「大学の知」を京都市の施策に最大限活かし、市政課題の解決に向け調査・研究を行うもので、指定テーマ「文化を活かした京都の活性化」について、4つの分野別ユニットで構成する研究グループが、多角的な観点から調査・分析を行った。

2016年度に公募し、京都大学の土佐尚子教授をプロジェクトリーダーとする研究グループが採択され、今年度が研究の最終年度となる。研究成果を踏まえ、京都市において、2018年度以降に事業化を目指す。(事業期間：2016年度から2017年度までの2年間)

(4) 地域連携事業

<概要>

本財団では、従来から京都のまちの発展、活性化を目指し、加盟校が有する知と人材、学生の活力を生かした地域との連携事業を京都市と連携し実施している。

<実績>

1 大学地域連携創造・支援事業 (愛称：学まちコラボ事業)

大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と地域ニーズに基づき、大学の知や学生の活力を生かした地域課題の解決や地域活性化を目的とし、大学と地域との連携による取組に対して助成金を交付し、学生の学びと成長を支援している。

2017年度からは新たに「文化枠」を設定し、大学・学生と地域との協働・連携による文化的な取組の一層の促進を図るとともに、大学と地域の連携した取組を更に広げるため、大学への積極的な広報活動を行い、新規の参加団体の拡大にも注力した。

2017年度は、一般枠：17件（新規8件、継続9件）、文化枠：3件（新規）の合計20件を支援事業として採択した。

【2017年度スケジュール】

2017年4月1日～5月12日	募集期間
2017年5月13日～6月上旬	一次審査（書類選考）
2017年6月25日	2次審査（公開プレゼンテーション）
2017年7月6日	認定式
2018年3月31日	事業報告会・交流会

2 大学・学生と地域による京都のまちづくり事例集

本事業では、大学・学生と地域との連携・協働を促進することを目的に、大学・学生による地域活動事例等を紹介するWEBサイト（大学・学生と地域による京都のまちづくり事例集）を開設し、協働事例などを発信した。

3 「学まち連携大学」促進事業

地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出する取組を、大学の組織的な取組として定着させることを目的に、地域と連携した実践的な教育プログラムの開発・実施に取り組む6大学に補助金（2019年度までの最大4年間）を交付し、取組を支援している。

4 大学・地域連携サミット

学まちコラボ事業や各区のまちづくり支援事業を含めた大学・地域連携事例を広く発信するとともに、大学・地域連携活動に関わる学生や大学関係者、地域団体等が交流する機会を創出するため、「大学・地域連携サミット」を京都市と協働で2016年度から開催している。

2017年度は、11月12日（日）に開催。第1部に谷口知弘（福知山公立大学教授）による基調講演、「学まち連携大学促進事業」採択大学による取組報告、第2部に大学・学生・地域の連携によるまちづくり事例のポスターセッションを開催し、終了後、発表者交流会を行った。

各種委員会等の開催について

（1）調査企画事業

① 調査事業企画検討委員会

11月16日	第1回委員会（中間報告）
3月20日	第2回委員会及び成果報告会

② 大学のまち京都・学生のまち京都推進会議

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 8月30日 | 第1回計画策定部会
・次期計画のビジョン、柱立て |
| 9月22日 | 第1回推進会議
・次期計画のビジョン、柱立て |
| 1月11日 | 第2回計画策定部会
・次期計画の全体像（イメージ）と考え方 |
| 2月1日 | 第2回推進会議
・次期計画の全体像（イメージ）と考え方 |
| 3月15日 | 計画策定部会
・柱別（柱4、6）の具体的な取組についての検討 |

③ 大学政策委員会

- | | |
|--------|---|
| 7月12日 | 第1回委員会
・大学政策委員会幹事会の設置と加盟校アンケート集計結果（速報値）の報告 |
| 10月11日 | 第1回幹事会
・加盟校アンケート及びヒアリング調査の分析結果について意見交換
・第4ステージプランにおける各事業の到達点についての検討状況 |
| 11月8日 | 第2回委員会
・第4ステージプランにおける各事業の到達点や課題
・加盟校からの財団の事業や運営に対する評価・要望等 |
| 12月13日 | 第2回幹事会
・次期ステージプランの方向性について |
| 1月10日 | 第3回幹事会
・第3回大学政策委員会検討事項等の確認 |
| 2月14日 | 第3回委員会
・中間総括（第4ステージの到達点、次期中期計画策定方針等）案の検討
・2018年度大学政策委員会・部会の体制検討 |

(2) 都市政策研究推進事業

① 都市政策研究推進委員会

- | | |
|--------|----------------|
| 4月14日 | 第1回委員会 |
| 6月9日 | 第1回交流大会検討チーム会議 |
| 9月22日 | 第2回委員会 |
| 11月10日 | 第2回交流大会検討チーム会議 |
| 11月24日 | 第3回委員会 |
| 12月3日 | 政策研究交流大会 |
| 2月16日 | 第4回委員会 |

(3) 地域連携事業

① 学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）選考委員会

- 6月2日 第1回（主要議題：1次選考）
- 6月25日 第2回（主要議題：公開プレゼン審査）
- 11月15日 第3回（主要議題：次年度の課題整理）
- 2月7日 第4回（主要議題：報告会の実施、次年度の事業募集・採択審査について）
- 3月31日 事業報告会

総務部

(1) 総務業務 (法人運営・庶務)

<概要>

(1) 機関会議

法人の意志決定を行うため、運営委員会、理事会、評議員会を行い、会員団体への事業報告等の場として会員総会を開催している。(日程、主な議題等については「各種委員会等の開催について」参照)

(2) 大学のまち・京都サマーミーティング 2017

大学コンソーシアム京都の事業推進や京都市の大学政策の参考とするとともに、京都の大学と京都市の一層の連携を図ることを目的とし、8月に加盟大学学長と京都市長との懇談会を開催する。

<実績>

8月19日(土)	大学のまち・京都サマーミーティング 2017 ○出席者 (全23名) <大学コンソーシアム京都> 評議員会、理事会及び運営委員会を構成する大学の学長(代理の場合は副学長)、 専務理事・事務局長 <京都市> 市長、副市長及び総合企画局長 <文化庁> 文化庁 地域文化創生本部 事務局長 ○議題 「文化による地方創生に向けた地域と大学間の連携の推進について」
----------	---

(2) 財務・経理業務

<概要>

本業務は、財団の予算執行管理及び財産の運用などを担当する。

<実績>

6月1日(木)	2016年度決算監査
10月～	2017年度第1次補正予算編成作業(1月理事会上程予定)
11月～	2018年度当初予算及び事業計画編成作業(3月理事会上程予定)
1月20日(土)	2017年度第1次補正予算(案)理事会上程
3月24日(土)	2018年度当初予算及び事業計画(案)理事会上程及び評議員会報告

(3) 研修業務

<概要>

財団職員の力量向上を目指した研究企画の策定・実施を目的とする。2017年度は総務部が主体となり、以下の研修を実施する予定である。また、各事業部の理解、連携を深めるため、事業部業務説明会を実施し、研修体制の充実を図る。

<実績>

4月1日(土)	4月新規出向者・採用者向けオリエンテーション
5月2日(火)	5月新規出向者向けオリエンテーション
5月17日(水)	事業部業務説明会(教育事業部、教育開発事業部、国際事業部)
5月29日(月)	総合防災訓練
6月21日(水)	事業部業務説明会(学生交流事業部、調査・広報事業部、総務部)
6月30日(金)	ハラスメント研修
8月23日(水)～25日(金)	SPODフォーラム2017(徳島大学)
9月2日(土)～3日(日)	大学行政管理学会定期総会・研究集会(西南学院大学)
12月16日(土)	財団冬季研修
3月20日(火)	2017年度業務成果報告会(出向満了予定者)

(4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

<概要>

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行っている。情報交換・交流の場として「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」を開催している。

<実績>

○第14回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(概要)

日時:【1日目】2017年10月7日(土) 13:00～20:00

【2日目】2017年10月8日(日) 9:30～11:30

会場:沖縄科学技術大学院大学(沖縄県恩納村)

テーマ:(全体テーマ) 大学コンソーシアムとボランティア

プログラム:【1日目】基調講演、シンポジウム、ポスターセッション、情報交換会

【2日目】分科会

	内容	参加人数
1 日 目	基調講演 「世界の平和と開発を推進するユースボランティア」 【講演者】Olivier Adam氏(国連ボランティア計画(UNV)事務局長)	252名
	講演Ⅰ 「みんな地球に生きるひと」 【講演者】Agnes chan氏(歌手・教育博士)	
	講演Ⅱ 「OISTと日本の将来について」 【講演者】Peter Gruss氏(沖縄科学技術大学院大学 学長)	
	シンポジウム 「大学コンソーシアムとボランティア」	

		【シンポジスト】 Olivier Adam 氏（国連ボランティア計画（UNV）事務局長） Agnes chan 氏（歌手・教育博士） 中村 安秀 氏（大阪大学名誉教授、国際ボランティア学会会長） 木村 泰政 氏（UNICEF（国連児童基金）東京事務所代表） 布村 幸彦 氏（公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会 組織委員会副事務総長） 今井 絢一 氏（大学生）（関西学院大学社会学部4年生、国連ユースボラン ティア） 【コーディネーター】 小川 寿美子 氏（名桜大学 教授）	
		ポスターセッション （出展 18 団体：全国コンソ協議会加盟組織）	—
		情報交換会（講演者および参加者との情報交換、島唄ライブ等）	約 100 名
2 日 目	第 1 分科会	持続可能な発展と環境法政策	一般社団法人 大学コンソーシアム 沖縄 6 名
	第 2 分科会	ボランティアリズムによる人 づくり	一般社団法人 大学コンソーシアム 沖縄 31 名
	第 3 分科会	産学の「連携」から「共創」へ	一般社団法人 大学コンソーシアム 沖縄 28 名
	第 4 分科会	地域貢献とボランティア	公益社団法人 学術・文化・産業ネ ットワーク多摩 27 名
	第 5 分科会	災害時に活躍できる学生ボランティア育 成の現状と展望 —京都、秋田における防災教育の取り組 み事例から—	公益財団法人 大学コンソーシア ム京都 15 名
総参加者数			263 名

（5）勤労学生援助会・表彰奨学金事業

<概要>

本事業では、「勤労学生援助会」の事務局として、理事会等の開催・予算の執行管理等を行っている。「勤労学生援助会」では、人物・学業とも他の学生の模範となる学生で、学費や生活費をアルバイト及び奨学金等に頼り、家庭からの援助が皆無に近い学生や、京都地域の社会活動で著しく貢献した学生を表彰し、奨学金を給付している。

<実績>

7月6日（木）	通常総会・理事会
2月1日（木）	表彰学生選考委員会（主要議題：表彰・奨学金授与学生の選考他）
3月15日（木）	勤労学生表彰・奨学金贈呈式および懇親会

(6) 施設管理事業 (指定管理)

<概要>

施設管理事業は、京都市から指定管理者として 2015 年度から 4 年間の再指定を受け、キャンパスプラザ京都の管理運営を行うこととなった。引き続き、施設運営に必要な委託業者(受付、警備、清掃、各種インフラ管理等)と連携を図りながら適切な施設管理を行っていく。

<実績>

4月10日(月)	保守点検日
4月24日(月)	保守点検日
5月8日(月)	保守点検日
5月22日(月)	保守点検日
6月12日(月)	保守点検日
6月26日(月)	保守点検日
7月10日(月)	保守点検日
7月24日(月)	保守点検日
8月7日(月)	保守点検日
8月21日(月)	保守点検日
9月11日(月)	保守点検日
9月25日(月)	保守点検日
10月16日(月)	保守点検日
10月30日(月)	保守点検日
11月13日(月)	保守点検日
11月27日(月)	保守点検日
12月11日(月)	保守点検日
12月18日(月)	保守点検日
1月15日(月)	保守点検日
1月29日(月)	保守点検日
2月5日(月)	保守点検日
2月12日(月)	保守点検日(全館停電作業日)
2月26日(月)	保守点検日
3月5日(月)	保守点検日
3月6日(火)	2018年度予約 一斉受付
3月19日(月)	保守点検日
3月26日(月)	保守点検日

各種委員会等の開催について

(1) 総務業務(法人運営)

① 評議員会

- 5月10日(水) 第1回(主要議題:評議員の辞任・選任について)※書面会議
- 6月17日(土) 第2回(主要議題:定款等の改正について)※書面会議
- 6月24日(土) 第3回(主要議題:2016(平成28)年度事業報告及び決算について 他)
- 3月24日(土) 第4回(主要議題:2018(平成30)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画及び予算について 他)

② 理事会

- 4月28日(金) 第1回(主要議題:運営委員の選任について)※書面会議
- 5月30日(火) 第2回(主要議題:定款等の改正について)※書面会議
- 6月8日(木) 第3回(主要議題:2016(平成28)年度事業報告及び決算について 他)※書面会議
- 7月8日(土) 第4回(主要議題:大学政策委員会の設置について 他)※書面会議
- 9月28日(木) 第5回(主要議題:規則の改正について)※書面会議
- 11月25日(土) 第6回(主要議題:大学コンソーシアム京都 遊休財産の活用方法について)
- 1月20日(土) 第7回(主要議題:2017(平成29)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補正予算について 他)
- 3月24日(土) 第8回(主要議題:2018(平成30)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画及び予算について 他)

③ 会員総会

- 6月24日(土) 報告事項1 2016(平成28)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業報告及び決算概要について
※会員総会に引き続き、懇親会を開催

④ 運営委員会

- 4月12日(水) 第1回(主要議題:第1回理事会(書面開催)の議題(運営委員の選任)について 他)
- 5月10日(水) 第2回(主要議題:2016(平成28)年度事業報告及び決算について、第4回理事会の議題(大学政策委員会の設置) 他)
- 6月14日(水) 第3回(主要議題:第4回理事会開催について 他)
- 7月12日(水) 第4回(主要議題:「京あるき in 東京 2018」京都の大学による特別講座 他)
- 9月13日(水) 第5回(主要議題:公益財団法人 大学コンソーシアム京都 規則の改正について 他)
- 10月11日(水) 第6回(主要議題:文部科学省 平成29年度私立大学等改革総合支援事業(タイ

- プ5)への申請について)
- 11月8日(水) 第7回(主要議題:2018(平成30)年度事業計画策定及び予算編成の基本方針について 他)
- 12月13日(水) 第8回(主要議題:学生交流事業部の名称変更について)
- 1月10日(水) 第9回(主要議題:2017(平成29)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補正予算について 他)
- 2月14日(水) 第10回(主要議題:2018年度機関会議等開催日程について 他)
- 3月14日(水) 第11回(主要議題:2018(平成30)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画・予算について)

(2) 全国大学コンソーシアム協議会事業

① 全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

- 6月18日(日) 第1回(主要議題:決算・予算・事業計画等)
- 10月8日(日) 第2回(主要議題:第14回 フォーラム振返り・第15回フォーラムについて)
- 2月17日(土) 第3回(主要議題:第15回 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて 他)

② 全国大学コンソーシアム協議会 幹事会

- 7月7日(金) 第1回(主要議題:規約の一部改正、2016(平成28)年度決算等) ※書面会議
- 2月23日(金) 第2回(主要議題:全国大学コンソーシアム協議会 代表幹事の選任について) ※書面会議

(3) 勤労学生援助会・表彰奨学金事業

① 勤労学生援助会理事会・選考委員会

- 7月6日(木) 通常総会・理事会
- 2月1日(木) 表彰学生選考委員会(主要議題:表彰・奨学金授与学生の選考、他)
- 3月15日(木) 勤労学生表彰・奨学金贈呈式